



パースで開催されている『AQUATIC SUPER SERIES』の第4回大会が2月5日と6日の2日間にわたり、パースのHBFスタジアムで開催された。競泳の全30レースが行なわれた今大会はオーストラリア、日本、中国の3つ巴の戦いとなった。日本水泳連盟から20名以上の日本を代表するトップスイマーが送り込まれ、世界の強豪選手たちと国別対抗ポイントで争った。

**PERTH
AQUATIC
SUPER SERIES**
Western Australia

オーストラリア水泳連盟が主催し、2013年からパースで開催されている『AQUATIC SUPER SERIES』。今大会は競泳の試合が国別対抗戦で行なわれ、オーストラリア、日本、中国の3ヶ国が参加した。各レースに各国代表選手が2名ずつ出場し、レース結果の上位の選手に高ポイントが与えられ、国別に集計され、順位を争う。

2月4日



大会前日、コアラとの記念撮影をする松本弥生選手。



「意外と爪が鋭かったです（笑）」と宮本陽輔選手。

2月5日



今年も熱い戦いが幕を開けた。



リオ五輪に向けての抱負

「リオには絶対に行きたいです。4月の大切な試合（オリンピック選考会）があるので、その試合に合わせられるように、これからもトレーニングを積み重ねていきたいです」



男子200m平泳ぎで見事1位を勝ち取った小関也朱篤選手。



4日のコアラを抱こした感想

「コアラはすごくかわいかったですよ！思っていたよりも、モフモフで柔らかかったです。初めてコアラを見て、触れて、とても良い思い出になりました」